

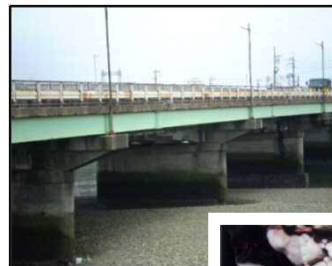
### (3)老朽化対策とは

## ② 老朽化のメカニズム

●橋の代表的な損傷には、橋の三大損傷とされる「塩害」「アルカリ骨材反応」「疲労」があり、放置することにより劣化が進み、橋の安全性に影響を及ぼす劣化要因となります。この他にも、雨水による鋼材の腐食や凍害・中性化が原因となるコンクリートの剥離など、さまざまな損傷原因があり、その原因に即した対応が必要のため定期的なメンテナンスが必要となります。

### ◆架設後50年以上が経過し架け替えに至った事例

厚東川大橋や新寿橋では、老朽化対策と耐震性向上のため、大規模な架け替え工事を行いました。



#### 国道190号 厚東川大橋(山口県宇部市藤曲)

- ・1935年建設 (コンクリート橋)
- ・塩害による主桁、下部工の損傷が激しいため、1997年に架け替え (経年数62年)

#### 国道188号 新寿橋(山口県岩国市川下町)

- ・1953年建設 (コンクリート橋+鋼橋)
- ・主桁、下部工の損傷が激しいため、2012年に架け替え (経年数54年)